

平成16年11月3日

「青梅子どもルール」選定委員会

「青梅子どもルール」

～5つの約束～

1 日常生活の中でみんながなかよく過ごすための大切なルール

明るく なかよく 元気よく、思いやりの心をもって行動しよう

理由：青梅の子どもは、いつも「明るく なかよく 元気よく」していることが
青梅の子どもらしさであると考えました。

そして、思いやりの心があれば人のことを大切に考えることができるので、
悪口や人に迷惑をかける行動は自然になくなくなりました。

また、自分勝手な行動をする人もいなくなり、ふだんの生活の中でみんなが、
なかよく過ごすことができると考え、このようなルールにしました。

2 学校生活の中でみんなと楽しく過ごすための大切なルール

みんなと協力し、力を合わせて、何ごともりのりこえていこう

理由：青梅の子どもたちは、小・中学生あわせて約12400人います。この青梅
の小・中学生が協力し合えることは、青梅の将来を考えると、とても大切なこと
であると考えました。また、「何ごともりのりこえていこう」は、みんなが力を合
わせることによって、一人の力ではできないことができるようになります。

このことが、本当の意味でみんなと楽しく過ごせることであると考え、このよ
うなルールにしました。

3 生涯にわたって豊かな人間関係を築くための大切なルール

心やさしく、笑顔であいさつをしよう

理由：江戸時代、青梅街道を通じて周辺の国々の人たちとの交流で、来る人を心あたたく迎え入れ、来た人もこの青梅の地をこよなく愛してしまう青梅の風土があったと聞いています。

また、青梅の町に引き寄せられた多くの文化人の方々が青梅の人々との心あたたまる人間関係を築いていました。

私たちもこのよき伝統を引き継ぎ、「青梅子どもルール」に、生かしていきたいと考えました。

そこで、心やさしく人と接し、笑顔でだれにでもあいさつをすることが豊かな人間関係を築くために大切であると考え、このようなルールにしました。

4 青梅の郷土を愛するための大切なルール

豊かな自然を愛し、文化や伝統を大切にしよう

理由：青梅は、東京都の中でも自然豊かな土地です。その自然を愛することは、青梅の郷土を愛するために重要なことであると考えました。

また、青梅市は、古くから商業の盛んな町として、産業、経済、教育、文化の発展を遂げ、よき伝統も築いてきました。このことも大切にしなければならぬと考え、このようなルールにしました。

5 ^{けんこう}健康でたくましく生きていくための^{たいせつ}大切なルール

^{とうと}いのちの^{とうと}尊さを知り、自分の^{たいせつ}体を大切にしよう

^{りゆう}理由：^{とうと}いのちの^{とうと}尊さを知ることによって、いじめや^{ぼうりょく}暴力などがなくなると考えました。

また、^{さいきん}最近、いのちにかかわる^{さまざま}様々なできごとがありました。^{わたし}私たちは、もう一度^{いちど}いのちの^{とうと}尊さについて知ることが^{たいせつ}大切であると考えました。

さらに、^{きそく}規則正しい^{せいかつしゅうかん}生活習慣や^{しょくせい}食生活などを通して、^{とお}自分の^{じぶん}体を^{からだ}大切に^{たいせつ}することが^{じゅうよう}重要であると考え、このようなルールにしました。